

落小だより

学校HP (子どもたちや学校の様子を随時掲載中!!)

<https://www.town.yakumo.lg.jp/site/otoshibe-es>



学校の教育目標

自ら学び 豊かな力を発揮する子どもの育成
(よく考える子)

己を律し 自他を思いやる子どもの育成
(思いやりのある子)

自らを鍛え 心身ともに健康な子どもの育成
(明るくたくましい子)

「後期」は「好機」!

教 頭 ○ ○ ○ ○

9月も終わり、朝晩に肌寒さを感じる季節となりました。テレビの情報番組などでも、紅葉やサンマ等の話題が多くみられるようになり、すっかり秋の様相です。実りの秋を迎え、子どもたちにとっても、実り多い秋になるといいなと思っております。エアコンの工事は今年度の最盛期には間に合いませんでしたが、機械も届き、10月中には取り付けが完了する見込みです。来年の夏は、よりよい環境の中で学習することができそうです。保護者の皆様におかれましては、今年も暑さ対策にご協力いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。



さて、学校にとって10月は1年の折り返し地点、いよいよ後期のスタートを迎えます。前期では運動会をはじめ、遠足、5年生の宿泊研修、6年生の修学旅行といった大きな行事が行われ、それに向けて子どもたちはたくさんのエネルギーを注ぎ、頑張ってきました。これらの行事を経ることで、大きく成長できたことと思います。

では、後期ではどうでしょう。後期の大きな行事といえば、「学習発表会」が挙げられます。学習発表会では日ごろの学習の成果をもとに発表内容を決め、練習していくこととなります。そして他の学年と協力して練習するといったことは、すでに運動会などで経験済みであることから、学習発表会は何か新しいことに取り組むというよりは“これまでの学習の集大成の発表”といった意味合いとなります。前期で学んだ学習の成果を十分に発揮し、成長した姿を皆さんに見てもらえるよう、本番に向けて練習が本格化していきます。本番はぜひ見にいらしてください。

学習発表会が終わった後、大きな行事は実は「卒業式」までありません。行事自体は様々あるのですが、数日間練習をし、その行事の本番として1日使う大々的なものはありません。つまり、学習発表会が終わった後は、日ごろの学校生活に戻って学習に専念しやすい期間とも言えます。また、暑さも過ぎて、何事にも集中できる気候にもなります。そのような事から、後期は、学習へと向かう好機と言えます。



じっくりと腰を据えて、普段の学習に対して改めて向かう期間ととらえてみてはどうでしょうか。また、“読書の秋”とも言います。秋の夜長をじっくり読書して過ごすのもいいかと思えます。先日もアウトメディアの取り組みにご協力いただきましたが、その時と同様に、学校や家庭での過ごし方について、今一度見なおすきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。 ※写真は18日のピアサポートの様子です。

10月行事予定



日	曜	行 事	日	曜	行 事
1日	火	全校 5h	16日	水	全校 5h 二計測・視力(1・2年)
2日	水	全校 5h 小中合同避難訓練	17日	木	1～3年 5h 二計測・視力(3・4年) 係活動
3日	木	全校 5h	18日	金	二計測・視力(5・6年)
4日	金	後期委員会① フッ化物洗口	19日	土	週休日
5日	土	週休日	20日	日	週休日
6日	日	週休日	21日	月	4～6年 6h 係活動
7日	月	後期委員会②	22日	火	
8日	火	全校 5h	23日	水	全校 5h 学習発表会総練習
9日	水	なかよし学習②(ひまわり・あさがお級)	24日	木	
10日	木		25日	金	前日準備 (1年 4h 2・3年 5h)
11日	金	全校 3h(給食無) 前期終業式	26日	土	学習発表会
12日	土	週休日	27日	日	週休日
13日	日	週休日	28日	月	振替休業日(学習発表会)
14日	月	祝日(スポーツの日)	29日	火	
15日	火	全校 3h(給食無) 後期始業式	30日	水	
			31日	木	

「全国学力・学習状況調査」の概要をお知らせします

4月に行われました本調査について、本校の結果と分析がまとまりましたのでお知らせします。

【学力面】

(国語正答率) 本校平均… 71% 全道平均… 67% 全国平均… 67.7%

全国平均、全道平均を共に上回る結果となりました。特徴としては、**情報の取り扱い方に関する事項や書くことに関する事項**について、全国や全道の平均を大きく上回っていました。その一方で、**言葉の特徴や使い方に関する事項**が平均を下回っていました。

具体的には、**情報と情報との関係付けや語句と語句との関係の表し方への理解、目的や意図に応じて集めた材料を分類・関連付けし、事実と感想、意見とを区別して書く**といったことが得意であり、**話し言葉と書き言葉の区別や漢字の書き取り、主語と述語の関係をとらえる**ことが苦手な傾向がうかがえました。

問題形式としては、**長文で記述して答える問題**ができていた一方で、**短い語句で答える問題**をやや苦手としている傾向が見られました。

そこで、**語彙の習得と定着を図るために、今後も話や文章の中で新たに学んだ言葉を繰り返し使うような手立てを継続していきます。**

(算数正答率) 本校平均… 65% 全道平均… 61% 全国平均… 63.4%

全国平均、全道平均を共に上回る結果となりました。特徴としては、**図形やデータの活用**についてが高く、**変化と関係**についてはわずかに低い状況でした。

具体的には、**立体図形の見取り図を描くことや辺の長さや面積の関係等**について、割合への理解、**必要なデータを抜けや落ちが無いように取り出す**といったことが得意である一方で、**道のりや速さの関係**についてをやや苦手としている状況でした。

問題形式としては、国語と同様に**選択式や記述式**と比べ、**短答式**の問題がやや苦手な傾向がみられました。

そこで、**道のりや速さなどについては、日常生活により結びつけながら、見当をつけて問題に沿った回答ができるなど、見通しを持って学習を進められるよう、今後も配慮していきます。**

【質問への回答】

「学習への重要性」や「学習にICTを利用している」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」といった質問には肯定的な回答が全国や全道と比べて多かったものの、「朝食を毎日食べている」「毎日決まった時刻に起きる」といった生活習慣や、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」といった自己肯定感等の回答が、全国や全道と比べて肯定的な意見が少ない結果となっています。

今後、**学力調査と質問紙を合わせた集計や分析をより詳しく行っていくことで、学校運営の参考にしていきたいと考えております。今後もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。**